

脳脊髄液減少症 理解のための シンポジウム

高知県庁 正庁ホール

高知市丸ノ内1丁目2番20号

2026

2/1日

13:00～15:30

参加無料

お申し込みはこちら



プログラム

13:00～ 講演

14:20～ シンポジウム

01 脳脊髄液減少症とは？

～高知大学による新しい検査法の開発

中居 永一 氏

高知大学医学部附属病院 脳神経外科 学内講師

02 香川大学での脳脊髄液漏出症の治療経験

畠山 哲宗 氏

香川大学医学部附属病院 脳神経外科 助教(学内講師)

03 当院における脳脊髄液減少症の治療の試み

～ブラッドパッチ療法と持続硬膜外生食注入療法～

小坂 洋志 氏

松山市民病院 脳神経外科 部長兼HCU室長

テーマ「脳脊髄液減少症の治療」

座長／中川 紀充 氏

日本脳脊髄液漏出症学会 理事長

シンポジスト／

患者さん

医師（中居 永一 氏、畠山 哲宗 氏、
小坂 洋志 氏）

患者・家族支援協会 中井 宏 氏

（脳脊髄液減少症患者・家族支援協会
代表理事）

問い合わせ先

高知県健康政策部 健康対策課

TEL 088-823-9684 MAIL 130401@ken.pref.kochi.lg.jp

■主催：高知県

■共催：高知県教育委員会

プログラム

12:30～ 会場

13:00～13:05 開会

13:05～14:15 講演

テーマ

脳脊髄液減少症とは？
—高知大学による新しい検査法の開発

講師

高知大学医学部附属病院
脳神経外科 学内講師 中居 永一 氏

テーマ

香川大学での脳脊髄液漏出症の治療経験

講師

香川大学医学部附属病院
脳神経外科 助教（学内講師）畠山 哲宗 氏

テーマ

当院における脳脊髄液減少症の治療の試み
～ブラッドパッチ療法と持続硬膜外生食注入療法～

講師

松山市民病院
脳神経外科 部長兼HCU室長 小坂 洋志 氏

14:15～14:25 休憩

14:25～15:25 シンポジウム

テーマ

「脳脊髄液減少症の治療」

■座長 中川 紀充 氏

日本脳脊髄液漏出症学会 理事長

■パネリスト

患者さん

■パネリスト

中井 宏 氏

脳脊髄液減少症患者・家族支援協会 代表理事

■パネリスト

中居 永一 氏

高知大学医学部附属病院
脳神経外科 学内講師

■パネリスト

畠山 哲宗 氏

香川大学医学部附属病院
脳神経外科 助教（学内講師）

■パネリスト

小坂 洋志 氏

松山市民病院脳神経外科
部長兼HCU室長

15:25～15:30 閉会

お申し込みは
高知県電子申請システムから

